



玉川学園の魅力的な「まちなみ」と豊かな「コミュニティ」のために 住みよいまちと暮らしのデザインガイド

本ガイドは、「玉川学園地域まちづくり憲章・まちづくり方針」を具体的に実現するための指針になるよう作成したデザインガイドです。

このガイドには、住民が理解し努力すれば可能なこと、思いを同じくするもの同士が連携し運動することで実現できること、さらには、行政の理解と推進が必要なことなど多様なアイデアが含まれています。

魅力的な「まちなみ」と豊かな「コミュニティ」を実現するために、住民・地域・行政のみなさん、また開発建設事業者の方達にも共有事項として理解して欲しいガイドです。住まいを新築する時だけでなく、今日明日にもちょっとした工夫でできるアイデアも盛り込んでいますので、是非ご活用ください。

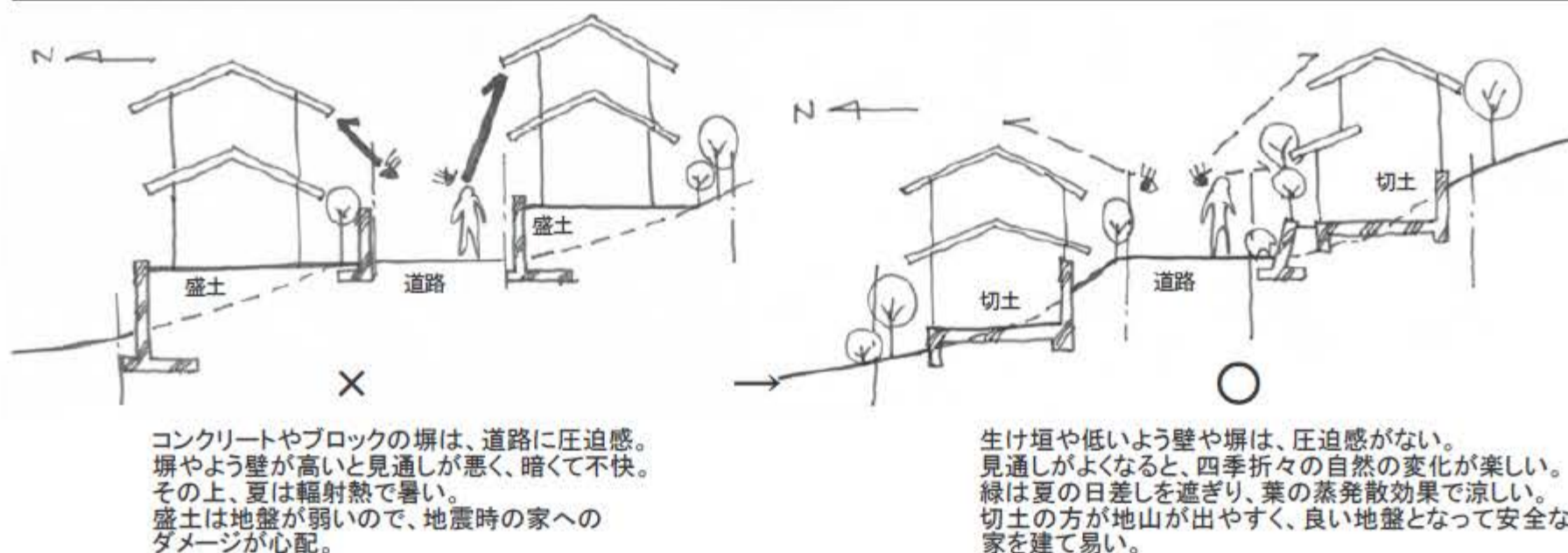
また、このまちの暮らしを支える組織として、玉川学園地区町内会自治会連合会等があります。本ガイドの作成にあたった「玉川学園地区まちづくりの会」では、これら町内会自治会と連携協力関係を深めてよりよい魅力のあるまちづくりを目指しています。

本ガイドについても、今後さらに住民の皆さんからのご意見をいただき、より役立ち、また楽しい冊子にしていきたいと考えています。どうぞよろしくご支援ください。

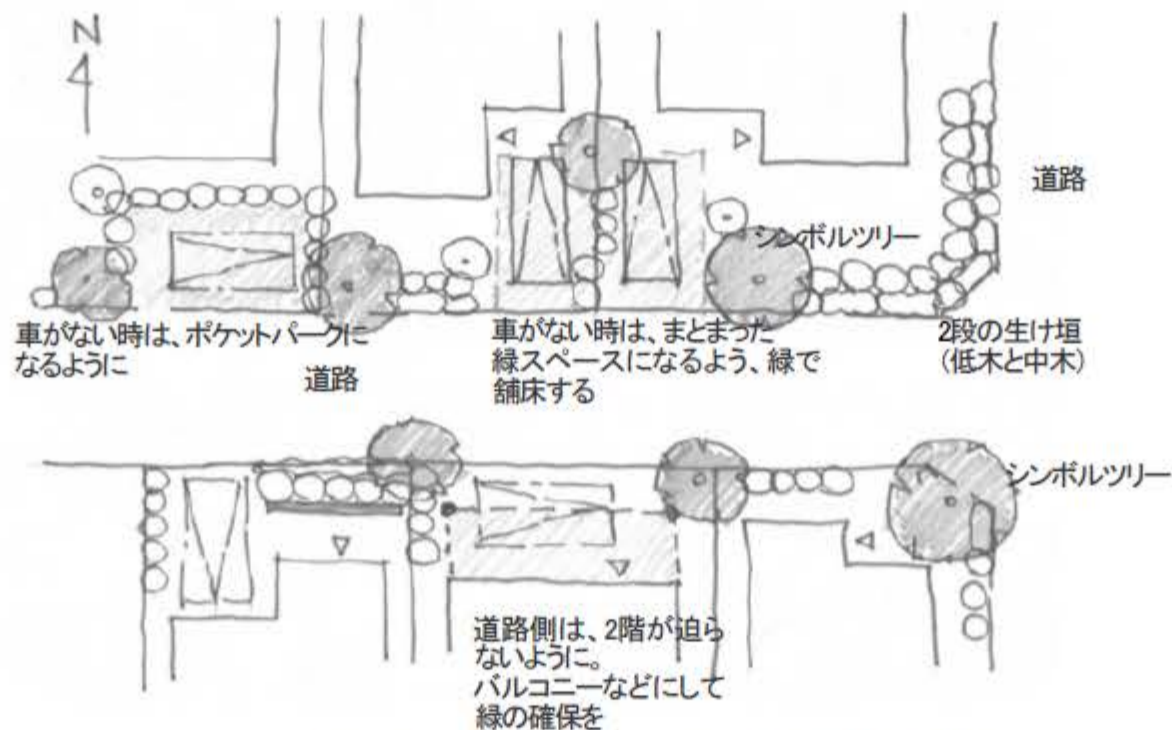
1 家の建ち方—道路との関係—道行きを気持ちよく安全に

チェック事項

- 元の地形を出来るだけ活かしているか(むやみに土を盛ったり削ったりして地形の特徴を失わせていないか)
- 道路や道行く人に圧迫感を与えていないか。見通しや眺めを大幅に遮っていないか。
(垂直よう壁を避ける。出来るだけセットバックして 道行く人が気持ちよく歩けるように 道路を明るく安全にする)
- 周辺の建物の高さや軒の高さに対して違和感を与えていないか。
- 道路と敷地の境界などに緑スペース(生垣やシンボルツリー等)を多くとって、道にゆとりを与えているか。
- 高い塀や門、閉鎖的な外構を施していないか。
(閉鎖的な外構は、起伏に富んだ地形とコミュニティを大切にした学園地域に似合わないし防犯にも良くない)
- 安全や防災に配慮したつくり方をしているか。



地形を活かして、安全に建てる



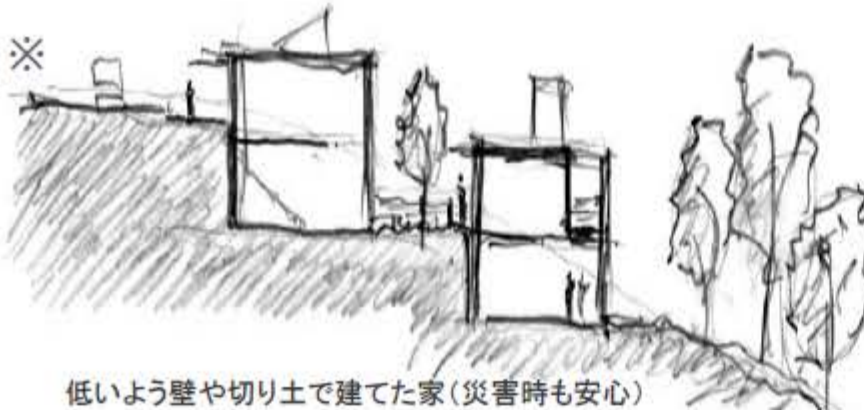
緑スペースを多くとって、まちにゆとりを



道行きを気持ちよく安全に建てる



低いよう壁や切り土で建てた家(視線が遠くまで延びて道行きも気持ち良い)



低いよう壁や切り土で建てた家(災害時も安心)



見通しのための角地セットバックとアイストップを兼ねたシンボルツリー



メーター類やゴミ置き場の見え方を配慮



低く見える家の建て方の例、2階を大きくセットバックした例(見通しがよくなる。圧迫感がない)



道から見て気持ちよい屋根の形や外壁のあり方(妻入り、桁入りなど)も考えよう。



セットバックしたコモンのつながりがある街路は、気持ちよい。



塀のしつらえ

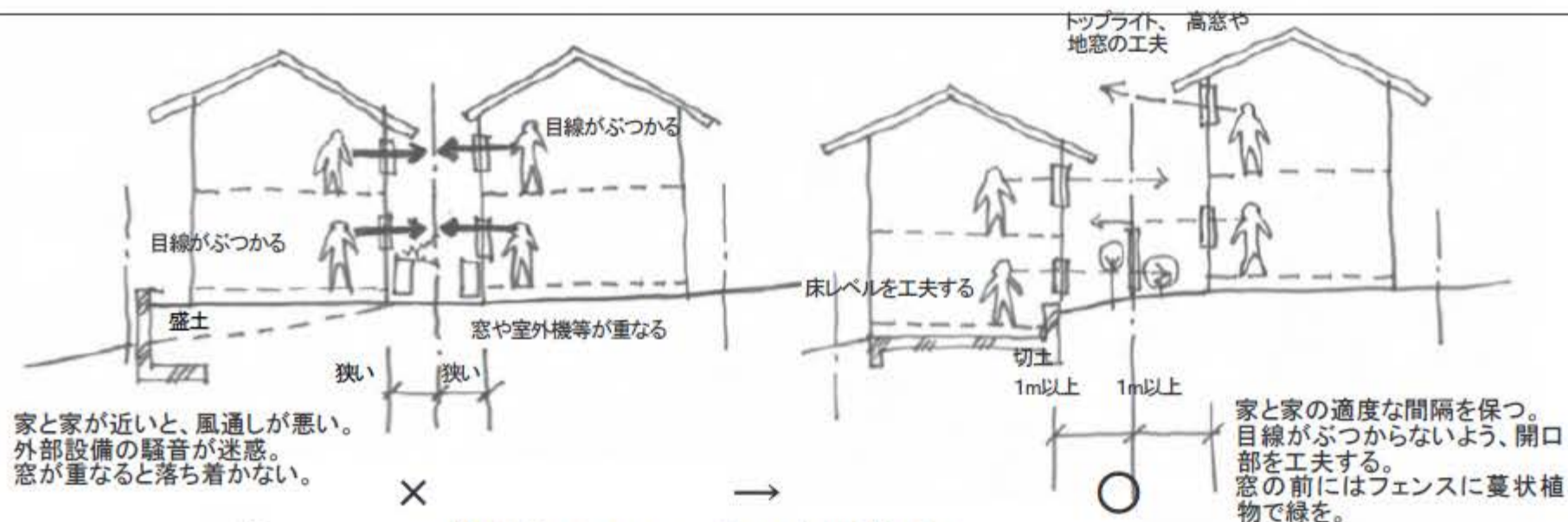
塀の手前の植栽。道路と塀との間のちよつとした緑も街を潤す重要アイテム。



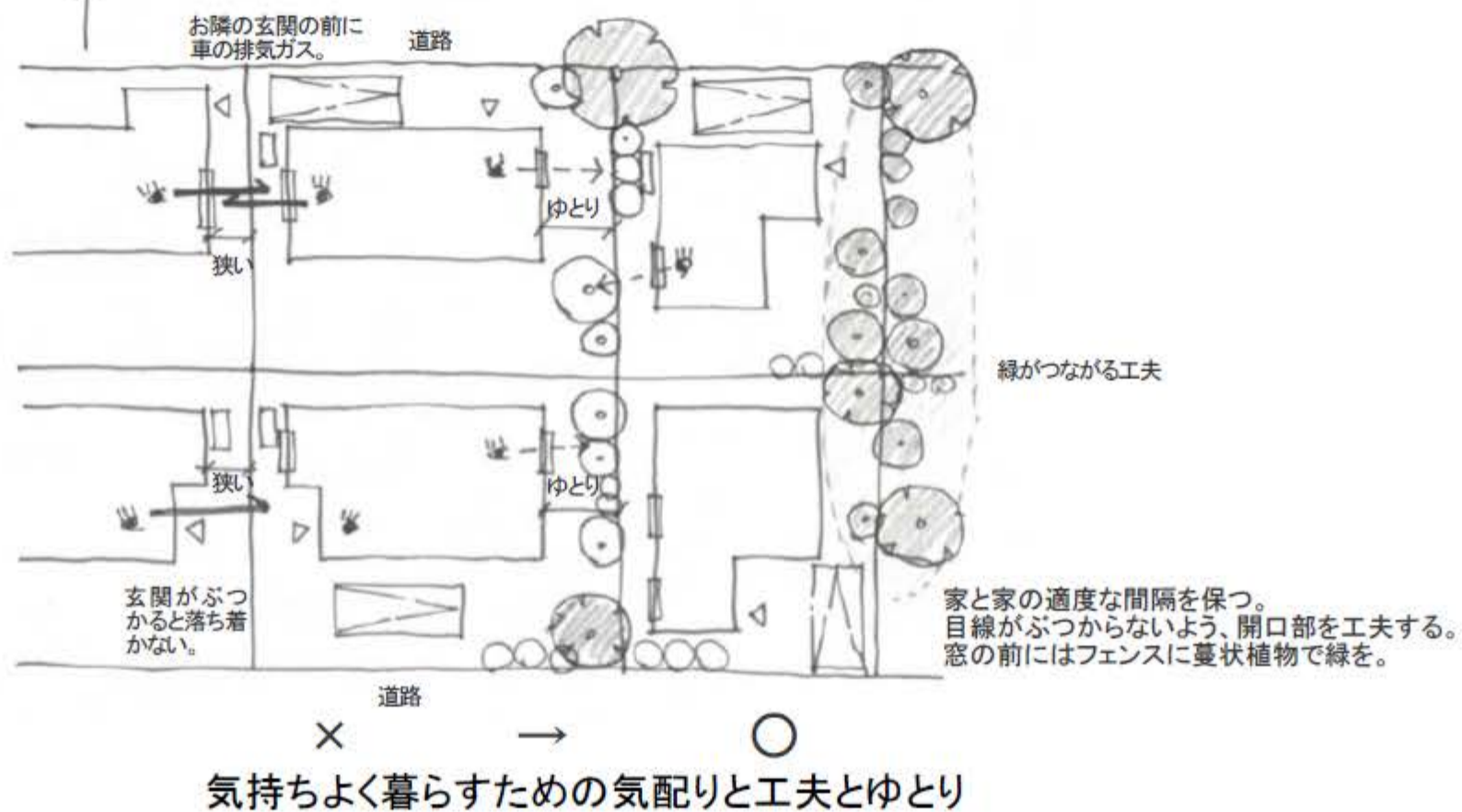
2 家の建ち方—隣地との関係—お互いへの配慮

チェック事項

- 元の地形を出来るだけ活かしているか(むやみに土を盛ったり削ったりして地域の地形の特徴を失わせていないか)
- 隣地や周辺に圧迫感を与えていないか。ゆとりをもって建てているか。
(近隣の住宅位置を考慮した建物の配置か。周辺の風通しや日差しを遮っていないか。視線のぶつかる窓や玄関、ベランダを作っていないか)
- 隣地や周辺に不快の種を振りまいていないか。生活騒音、排気、雨水の処理排水、設備類の見え方などを配慮して建てているか。
(エアコンの室外機、分別のゴミ箱、自転車、メーター類などは、上手に隠す)
- 安全や防災に配慮したつくり方をしているか。



敷地を活かして、気配を調整する



気持ちよく暮らすための気配りと工夫とゆとり



ご近所同士気持ちよく暮らせるように建てる



※



互いの良い関係のために、前庭を大きく取ったり、2階を大きくセットバックした例



※



隣や道路からの視線を配慮した玄関



※

エアコンや給湯器、車の出入りの位置、騒音対策



シャッターや高い壁で閉鎖的に作りをすると。。まちは暗くなるし、泥棒の思うつぼ。

その他

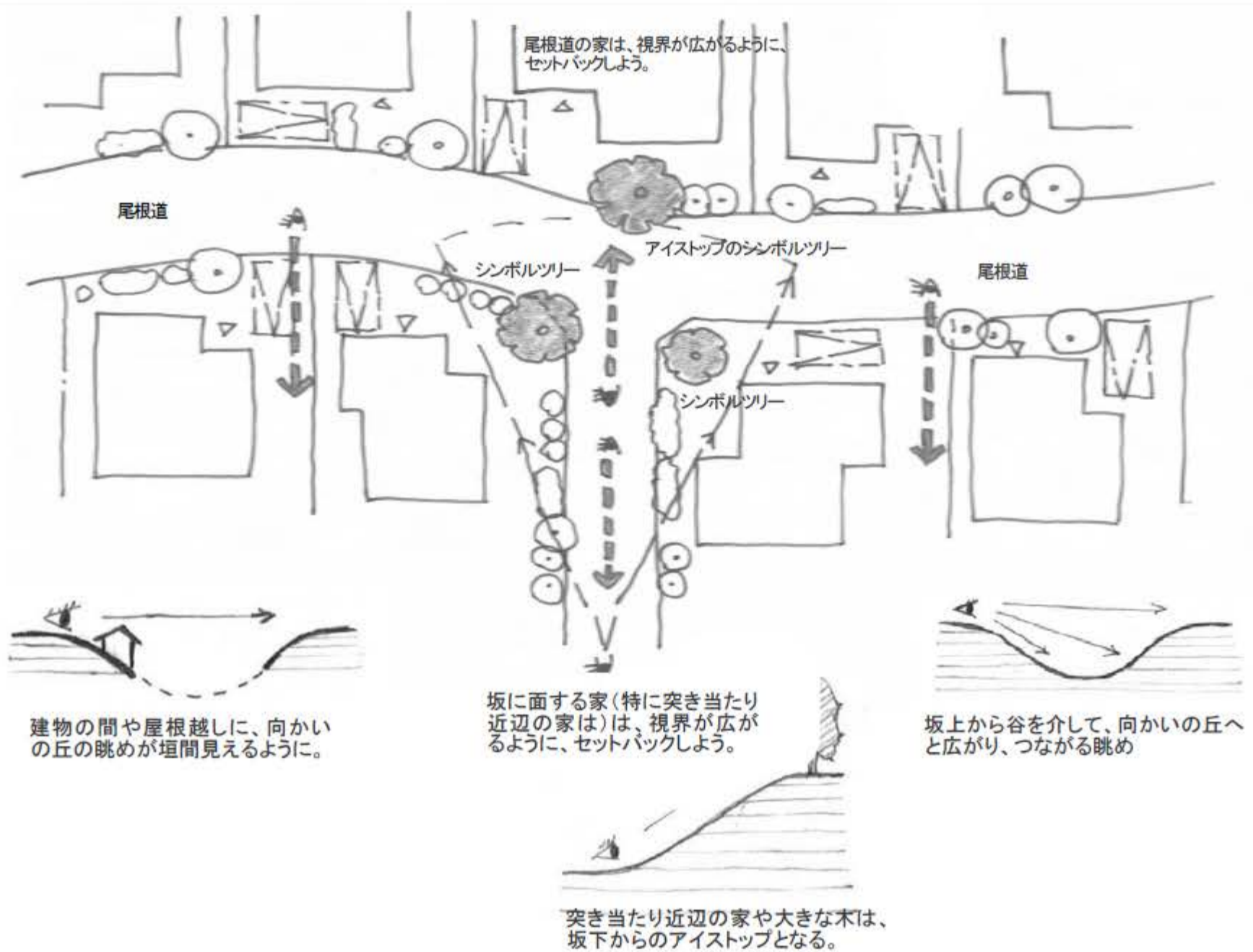
- ・ 新築時だけでなく、小さなリフォーム時にも、ご近所にお知らせする。
- ・ ご近所同士気配を感じられる工夫や声かけなどの気配りを。
- 時々は実行したいね。隣人祭りなどご近所コミュニケーション。



3 家の建ち方—まちとの関係—まちの魅力を増進するよう

チェック事項

- 自分の家と同じような建ち方で街並みが出来たとき、まちは気持ちよいか。(まちにとけ込みながらの個性が大事)
- 屋根・外壁・窓・アプローチ玄関・駐車場等の色・素材・あり方などは、魅力的で隣近所との調和がとれているか。
- 夜間のあかりに配慮して、道行く人の安全や快適さ楽しさにも気配りをしているか。
- 暮らしをこぼして、歩いてうれくなるような楽しさや賑わいを家の廻りに提供しているか。
- 家だけがデーンと大きく建っていないか。また、チマチマとデザインし過ぎ飾り過ぎていないか。
- 古くなって味や風格が出るような、本物の素材を使おう。
- 花や緑を植えて、道行く人が快適で楽しくなるようにしよう。
- まちの魅力、建つ場所の特徴と眺めを意識して、街並みがより良くなるように建てよう。



場所の持つ特徴と眺めを意識して建てる



まちの特徴と風景の中の文脈(つながり・意味・関係性)を意識した住まいを心がける



丘々の眺め、遠くへの視線



向こうの丘が見えると、まちの魅力が増進する。。。やはり、まとまった緑の力は大きい。



風景の中の文脈を読む住まいを心がける
(角の家、アイストップの家、坂道の家、丘の家、谷の家などは、まちの記憶をつくる)



急カーブなのにせっかくの視界を遮る高い垂直よう壁。危ない！夏は暑い！自分の家は眺めが良くなっても週りに不快を与えないよう、文脈を読んで住まいをつくろう。



まちの魅力を増進する構成を意識した住まいを心がける



大きな木は、まちの魅力を増進する環境装置。。。。



塀や壁、アプローチのしつらえ(奥を感じさせる工夫、開けたり閉めたり、透かしたり)



季節の変化が味わえる。。楽しさ。。

高い垂直よう壁も緑化でずいぶん印象が和らぐ。

シンボルツリーや緑陰。。



まちの魅力を増進する装置を持った住まいを心がける



道行く人とつながる仕掛けのあるギャラリーやカフェの例



道行く人に楽しい情報役に立つ情報を提供する



門灯等の夜のあかりの演出



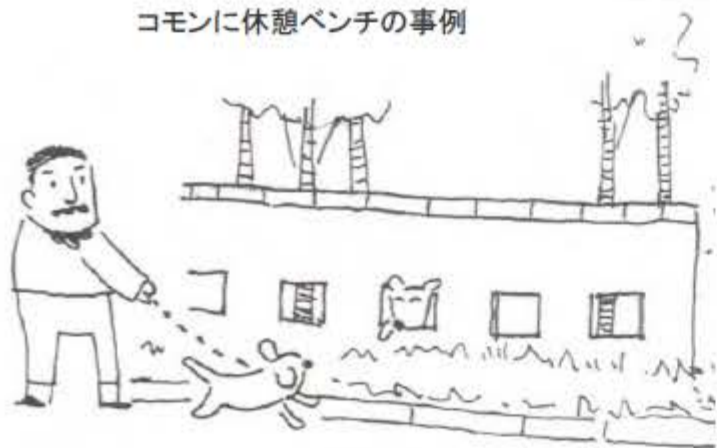
軒下やオープンな駐車場は、雨宿り空間にもなる



コモンに休憩ベンチの事例



窓辺やベランダの花の魅力的な家



お年寄りやペットなどずっと家に居る人や動物もまちとつながれるよう、また、道行く人を眺められるような窓やエクステリアのデザインを。



道行く人が快適で楽しくなるよう。。



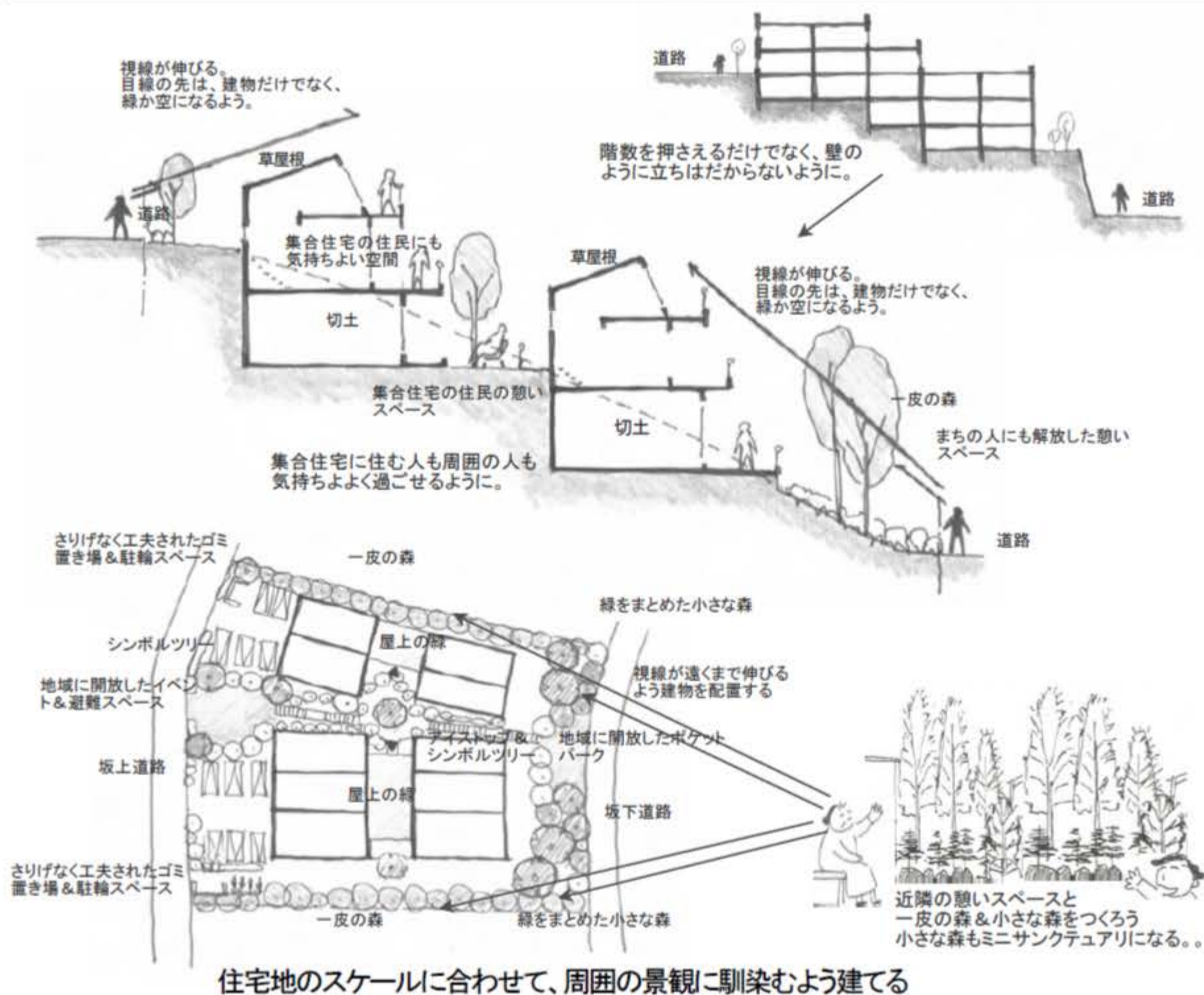
玄関まわりの魅力的な家



4 家の建ち方—集合住宅の場合

チェック事項

- 元の地形を出来るだけ活かしているか。(むやみに土を盛ったり削ったりして地域の地形特徴を失わせていないか)
- 壁のように立ちはだかをつくり方をして、視線や風や水の流れ、生態等に影響を与えていないか。
(出来るだけ低く小さく住宅地のスケールに合わせて(建物を分節して)、周囲の景観に馴染むよう、建て方やデザインを工夫する)
- ゴミ集積場、駐輪駐車場等が、周囲の景観を壊していないか。つくり方を工夫する。
- 緑を出来るだけ増やす配慮をしているか。(緑の管理もイベントとして建物住民のコミュニティづくりに利用する)
- 管理人を置くなど、建物住人の生活ぶりの確認と維持管理に配慮をしているか。
- 管理組合や建物住人も地域町内会自治会に加入し、まちづくりを一緒に進めよう。



地域環境をよりよくしていく開発を心がける。
風景にとけ込んだ集合住宅を心がける。



セットバックしたコモンの緑につながる集合住宅



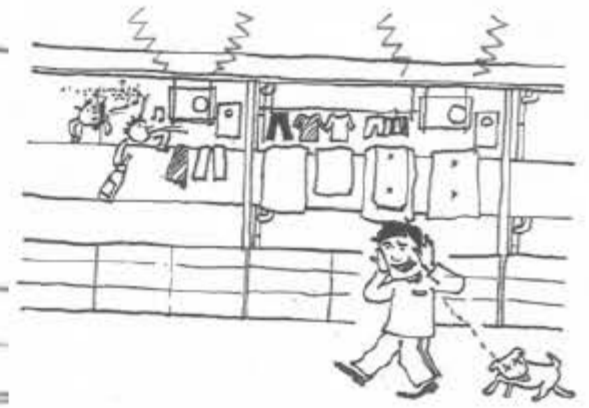
建物が分節した緑豊かな集合住宅



開発が地域環境をよくしている分譲住宅地



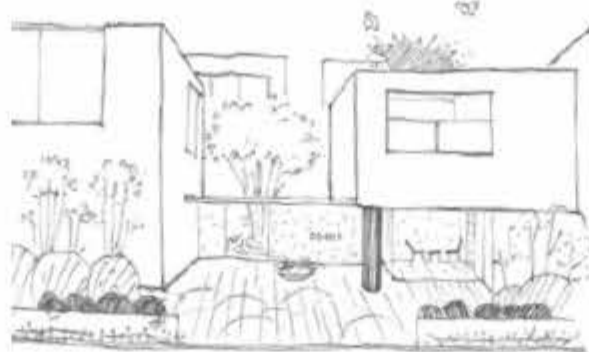
ワンルームマンションや
アパートのゴミの惨状



廻りに無神経なベランダ



団地のコミュニティが企画し、地域と
つながるイベントなどを行っている。



廻りに緑やポケット空間を提供している。



壁のように立ちがたがる作り方は止めよう。

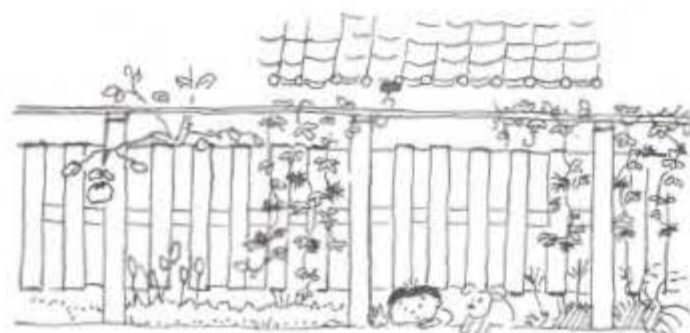
集合住宅だからできる暮らしやエコもある。



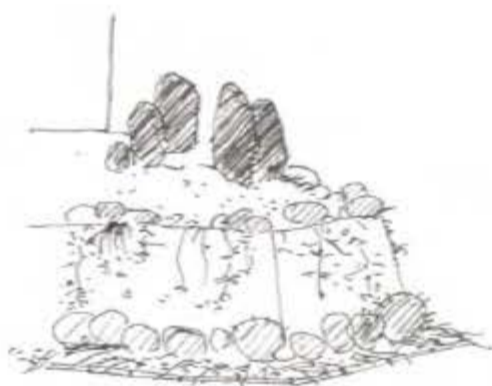
5 緑と水の工夫（生態系への配慮）

チェック事項

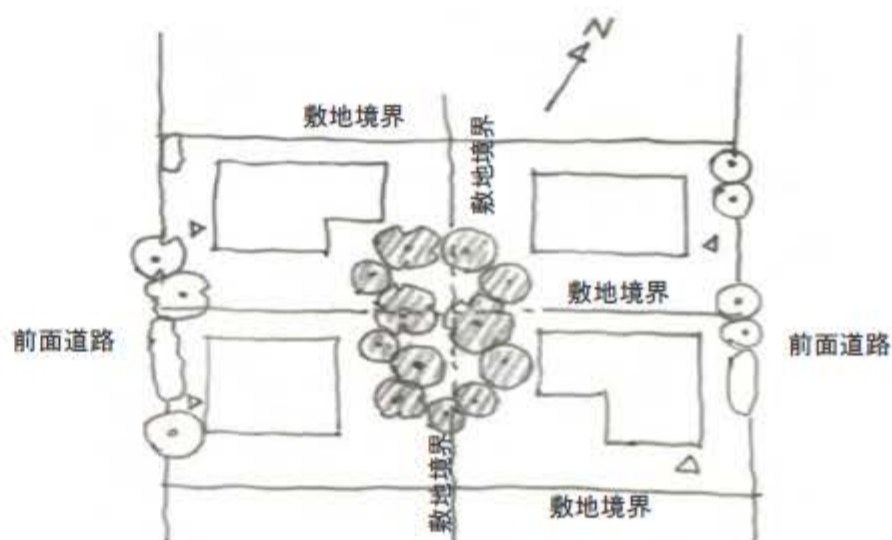
- 道路際は、出来るだけ生け垣にして視界の緑がつながるようにしよう。
- 道路際には、一家に1本「シンボルツリー」を植えよう。
- 駐車場やアプローチは、緑を植えたり雨水が浸透するようにしよう。
- 樹木を増やしてまちの緑を面でつなげ、夏の気候を穏やかにしよう。
(緑の充実=のり面緑化、壁面緑化、屋上緑化、夏場の緑のカーテン、葡萄棚藤棚など)
- 既存樹木を残す工夫をしているか。(桜の古木など一古木大木はまちの歴史と記憶です)
- 緑は、維持管理を怠ると町並みに悪影響。適切な維持管理と維持能力を考えた樹種選定を。
- 井戸や水みちを大事にしているか。
(むやみなコンクリート舗装などで雨水のしみ込みを遮断しないように。地下室や深い基礎等で地下水のルートを塞いでしまわないように。)



狭い場所では、塀やフェンスに 蔓状植物、被覆植物を

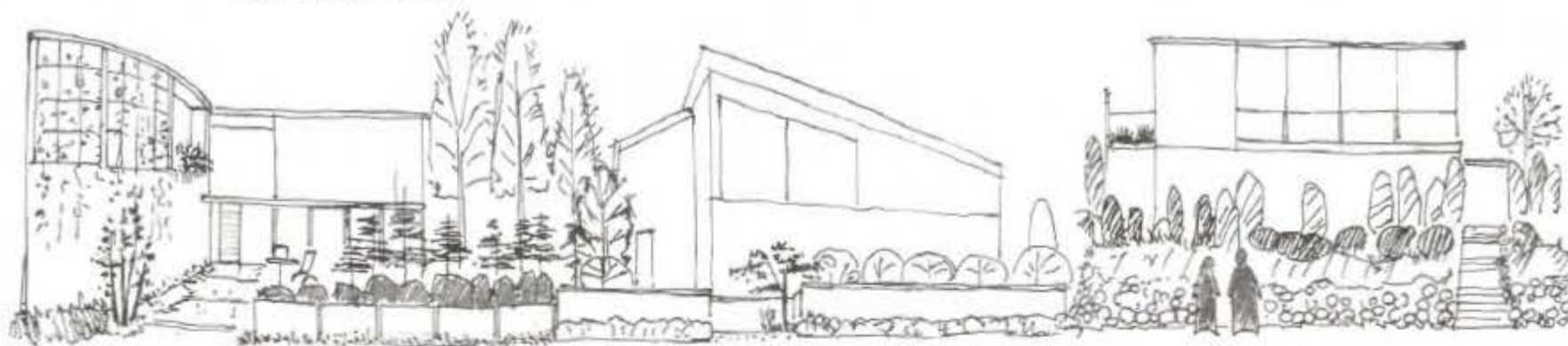


よう壁の緑化 の工夫



近隣との共同の緑地が出来ると、裏木戸コミュニケーションや豊かな緑が作れる。

緑をまとめて小さな森を



緑がつながるまちに



緑と水、多様な生き物との共存



雨水や井戸水を防火用水に。花の水やりにも



雨水が浸透する駐車場



蛍、蛙、ミミズ、ヤモリ、カッコウや鶯を呼び込もう。



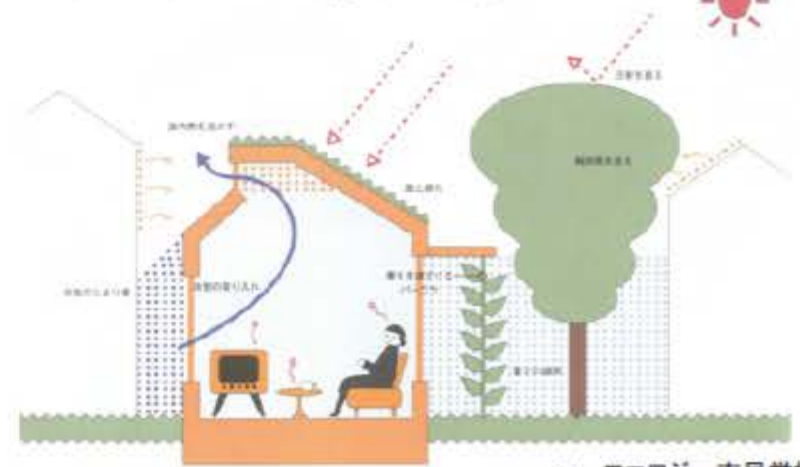
※ 佐川美術館HPより



水の効用(水の熱容量、蒸発潜熱を利用する)



緑の効用
(生け垣は延焼防止効果も)



※ エコロジー市民学校「住まいのエコアップマニュアル」より

緑の効用(緑で※微気候をつくる、目隠しをつくる)

※ 微気候とは、住まいとその周辺に限った局地的な気候(温度・湿度・風)のことで、建物や廻りのよう壁や塀、植物に影響を受ける。そのため、微気候を取り入れた計画をすることで、居住環境を改善することができる。

その他

- ・ 地下を作るときは、水みちや地下水位に気をつけて
- ・ 実現したいね。緑の維持管理ファンド
- ・ 実現してるよ。農地や樹木林のボランティア管理
- ・ 実現したい。埋められてしまった水路の復活、核になる施設の大規模緑化、樹木林の保存管理運営運動。。。など



6 住まい方の工夫

チェック事項

- 夏は自然の風や緑で涼しいか。(むやみにエアコンを使い、機械音や廃熱が近所迷惑になっていないか)
- 冬は日差しが入って温かいか。(隣の日差しを遮っていないか)
- すきま風防止と保温(気密断熱)、軒や庇やウインドキャッチ扉や窓形状、また窓や扉位置等、家の基本的な造りの工夫をする前に、いずれはゴミになるような機械や装置に頼り過ぎていないか。
- ペットやゴミの管理、雑草や水溜まりの管理などに気を配っているか。
- 騒音の配慮はしているか。(夜間遅くの大声、テレビやピアノ、入浴や外階段上り下り等の音漏れに気をつけているか)
- 地域住人と気持ちのよいコミュニケーションをしているか。(いざとなれば、遠くの親戚より隣の他人)
- 子育てや老後を考えて家事援助や在宅介護を受けやすいよう、人を招きやすい家のつくりを心がけよう。
- 心地よい庭をつくって屋外の暮らしを楽しもう。(ご近所や道行く人との気楽なおつきあいも増える)

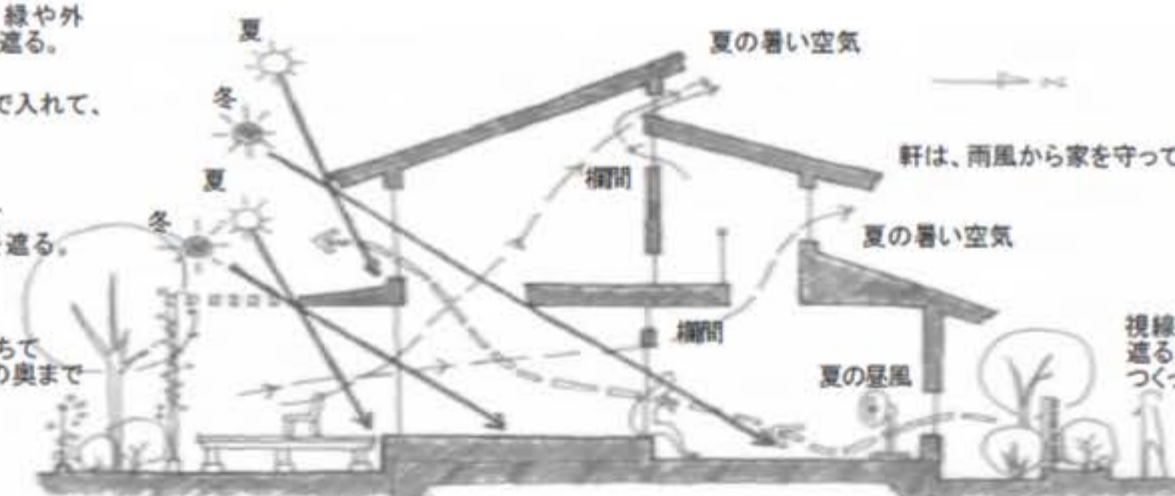
夏の日差しは、軒や庇、緑や外付けブラインドやよしずで遮る。

冬の日差しは、家の奥まで入れて、土間などで蓄熱する。

パーゴラなどの工夫をして夏は緑のカーテンで陽を遮る。

落葉高木
冬は葉が落ちて日差しを家の奥まで入れる。

隣地



軒は、雨風から家を守って長持ちさせる。

夏の暑い空気

夏の暑い空気

視線を逃がし夏の道路の輻射熱を遮るよう、道路側に樹木や生け垣をつくって有効利用する。

道路

底の舗床
土間コンクリートやモルタルではなく、保水性のあるたたきや土、芝生などにする。

夏の夜間は、土間で蓄冷。
冬の昼間は、土間で蓄熱する。

視線を逃がしながらの風の抜け道として、欄間や地窓を有効利用。

自然を利用した、経済的にも環境にも無理のないつくり方、暮らし方



断熱ふすま戸や厚手のカーテン

障子戸やレースのカーテン

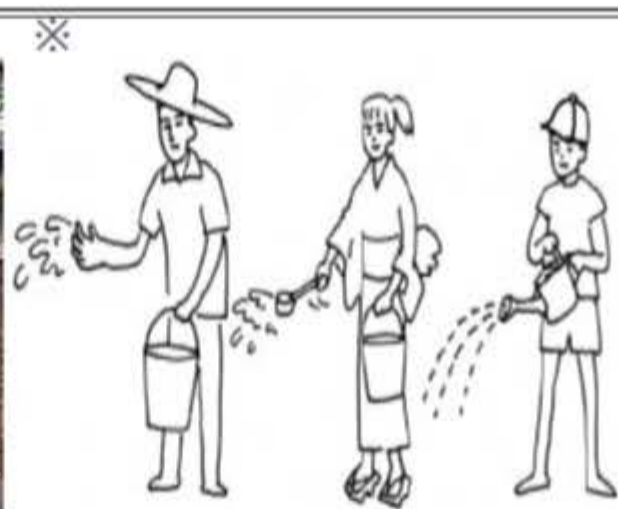
ガラス戸(ペア、方位によってはLow-E)
がらり雨戸



緑側などの緩衝空間は、入れ子の役目。

丁寧にきちんと維持管理し、永く大切に使い、愛着記憶と一緒に次代につなぐつくり方暮らし方

寒暖に応じて開閉し、乾湿に応じて呼吸するつくり方暮らし方。



顔の見える暮らし方と家づくりは、いざという時、災害時の安心安全につながる
 (地域に根ざす暮らし、開く暮らし) 子育てや介護、老後の暮らしを豊かにする
 まちの活性化や時間の余裕につながる



地域住人と気持ちのよいコミュニケーションは、オープンマインドとオープンな家から。



庭生活の楽しみ



あなたのこと見守ってるよ。
 困ったらお互い助け合おうね。
 特に一人暮らしの方等の声かけ&見守



心地よい庭をつかって屋外の暮らしを楽しむと、ご近所や道行く人との気楽なおつきあいも増える。



気配りは大切・ゴミの出し方、草むしり、ペットの糞、排気や騒音など。



こんな暮らし方もある。。オルタナティブな住まいと暮らし

- ・ グループリビングとは、非血縁関係にあるもの同士が、お互いのコミュニケーションを基盤として住み合う「共同居住」のこと。比較的元気な高齢者が自発的に、高齢期の自立支援や生活支援などを目的として、仲間とともに一つ屋根の下で助け合って生活する暮らし方。
- ・ コレクティブリビングとは、独立完備した複数の住戸と豊かな共用部分が組み込まれた住宅形態に、一般的には共同の食事運営を前提として楽しく助け合って生活する暮らし方。
- ・ コーポラティブハウジングとは、住まい手が共同して建設組合を作り、住宅を建設する手法。一般に集合住宅形式で、そのプロセスの中で都市に失われたコミュニティが醸成される。
- ・ シェアードハウスとは、何人かの人と共同生活を送れるように設計された家のことで、個室以外のリビングやキッチン、洗面、トイレ等を共通に使う作りになっている。家族を持たない一人暮らしの人にとって、適度なコミュニケーションが保たれ、若者だけでなく高齢者にも都合がいい暮らし方。



こんな暮らし方もある。。


7 地震等災害への備えー坂のまちで安心して暮らすために

チェック事項


- 災害(地震、突風、暴風、洪水等)を考えた家の対策や塀やよう壁の補強、地盤対策をしているか。
- 日頃から家や家の廻り(塀やよう壁、屋根や壁に取り付けられた機器類等)の安全点検、メンテナンスを心がけよう。
- 地震予知は当たったことはない。春夏秋冬、早朝、深夜、朝昼晩、いつ何時どういう状況で起きるかも判らない。様々なケースを想像し、常に非常時に備えよう。
(常に携帯するもの、逃げ道や避難箇所のチェック、情報収集の方法、安否連絡の取り方、自宅に辿り着く方法や集合場所等)
・『もしも』のために備えよう
参考URL: <http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/bouhan/bousai/bousaitaisaku/sonae/mosimonobitiku.html>
- 災害発災後のイメージトレーニングも必要。(非常時の食料等防災用品の備蓄内容、食べ方洗い方、熱源電源トイレ等をどうするか。避難所での不便な暮らしをイメージする等)
・避難生活をするようになったら
参考URL: <http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/bouhan/bousai/bousaitaisaku/sonae/sonae.html>
- 楽しみながら災害に強い家のつくり方、暮らし方をしよう。

まずは、我が家を備えていますか？

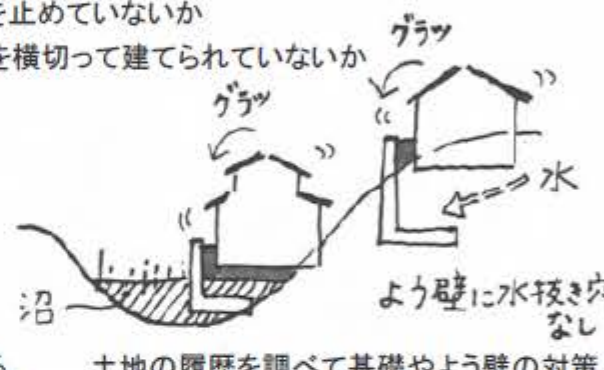
我が家の災害対策と見直し




大物家電や家具の固定



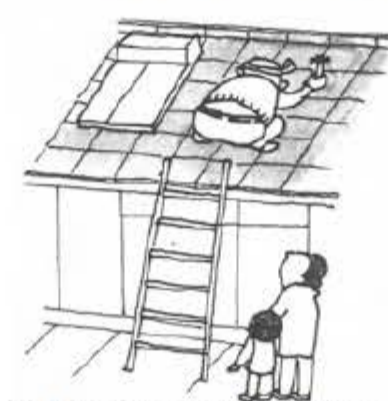
大きなガラス面にはフィルムを貼る



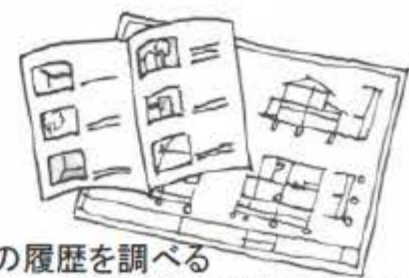
水みちを止めていないか
等高線を横切って建てられていないか
グラス
グラス
水
よう壁に水抜き穴なし
土地の履歴を調べて基礎やよう壁の対策



日頃のメンテナンスが大事
(雨漏り、塗装の剥がれ、腐れ、基礎や壁のひび割れのチェック)
(床の軋み、たわみ、建具の具合のチェック、シロアリ、クロアリ、カビ等の確認)




瓦や設備器具のとめ付けは大丈夫？




家の履歴を調べる
リフォームや維持管理対策&改修の記録を残す


我が家の構造特性と強度を知る

2000(H12)年以前の木造住宅は耐震診断を。必要なら耐震補強を。



まずは、自治体や信頼できる専門家に相談する

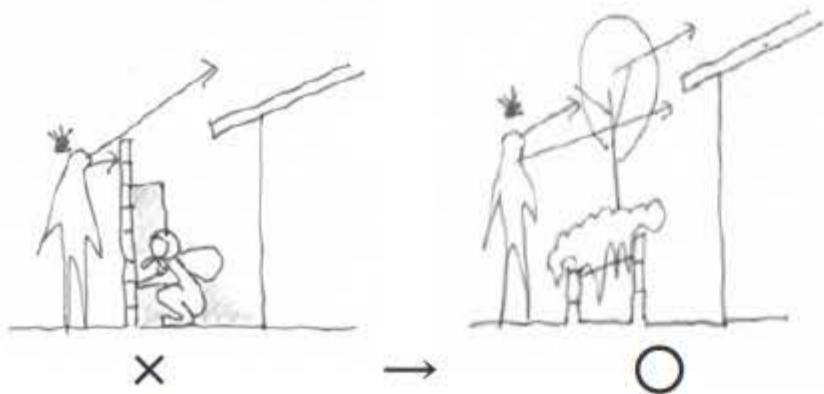






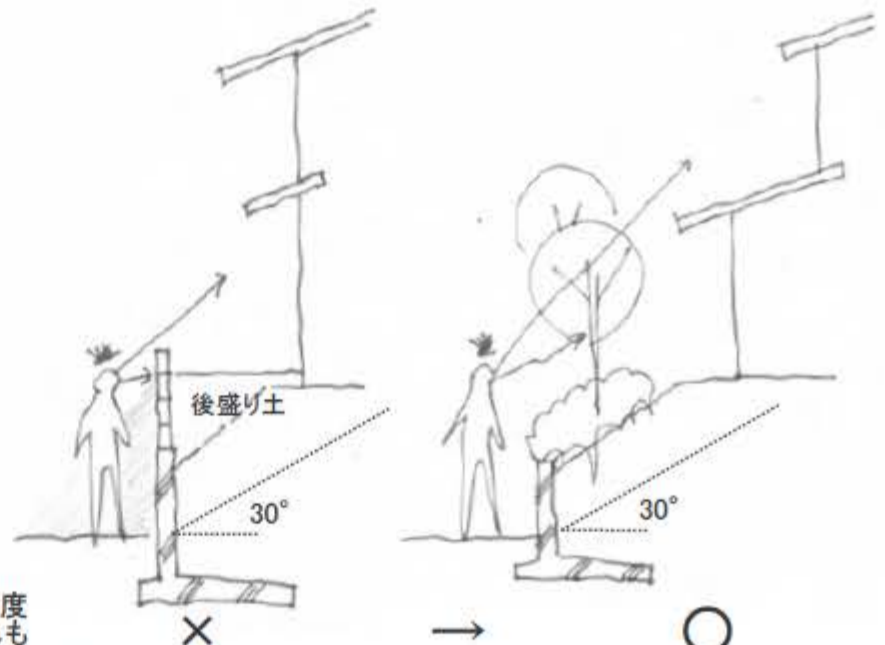
塀やよう壁の高さは、心の壁の高さかも。。

塀&よう壁は出来るだけ低くオープンに



古いブロック塀や石積みの塀やよう壁は、危ない。見通しが悪く、暗くてじめじめして不快。泥棒が潜みやすい。

生け垣や低いよう壁塀は、安全度が高い。見通しがよく、風通しも良い。緑は、道ゆく人とのコミュニケーションにも役立つ。

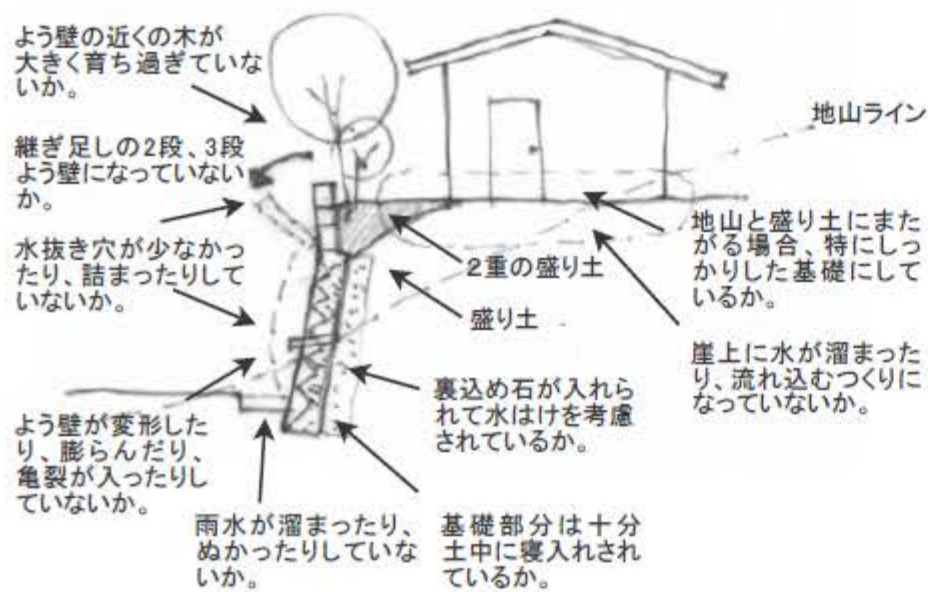


2段3段よう壁は、危ない。よう壁に建物が近いと建物の重さがよう壁にかかるので、基礎の根入れを深くする等の対策が必要。

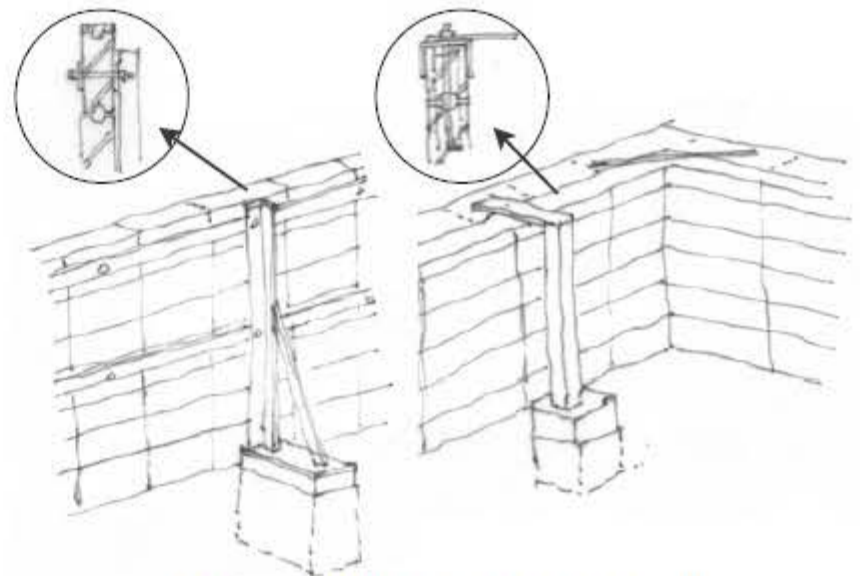
低いよう壁は、安全度が高い。思い切って土盛り部分や塀を外してみよう。もしもの時も逃げやすい。

安全な塀やよう壁にしよう。

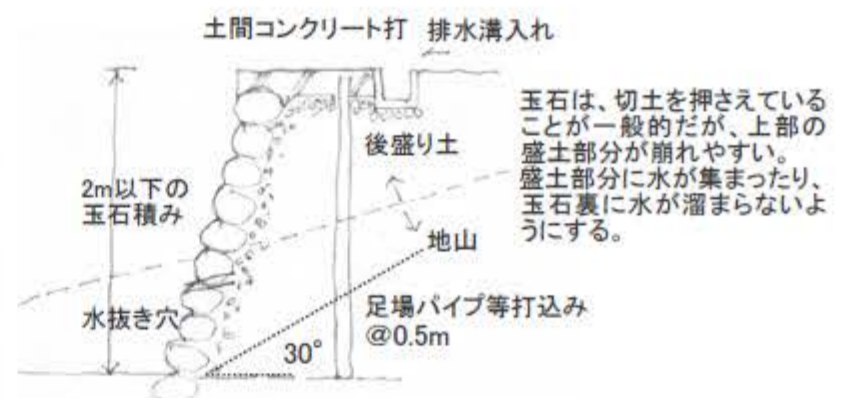
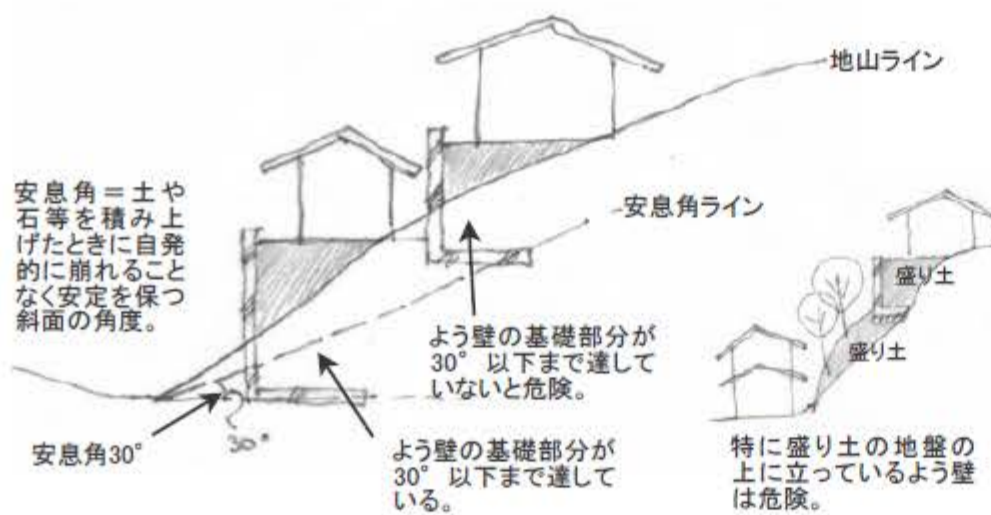
塀&よう壁のチェック



塀&よう壁の補強



古いブロックの塀は、補強して倒れないように。

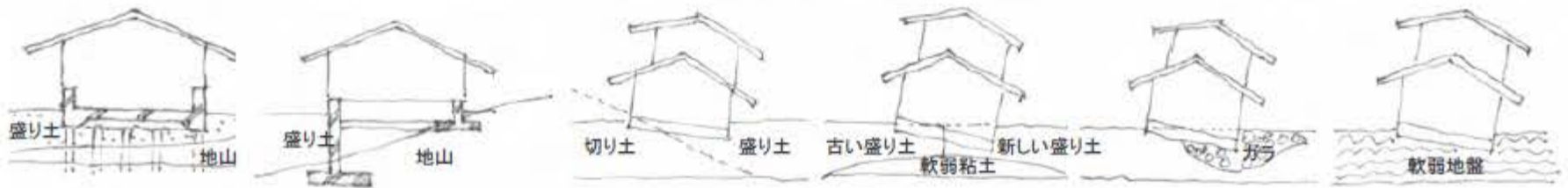


玉石よう壁も高いもの家の荷重がかかっているものは、補強して崩れないように。

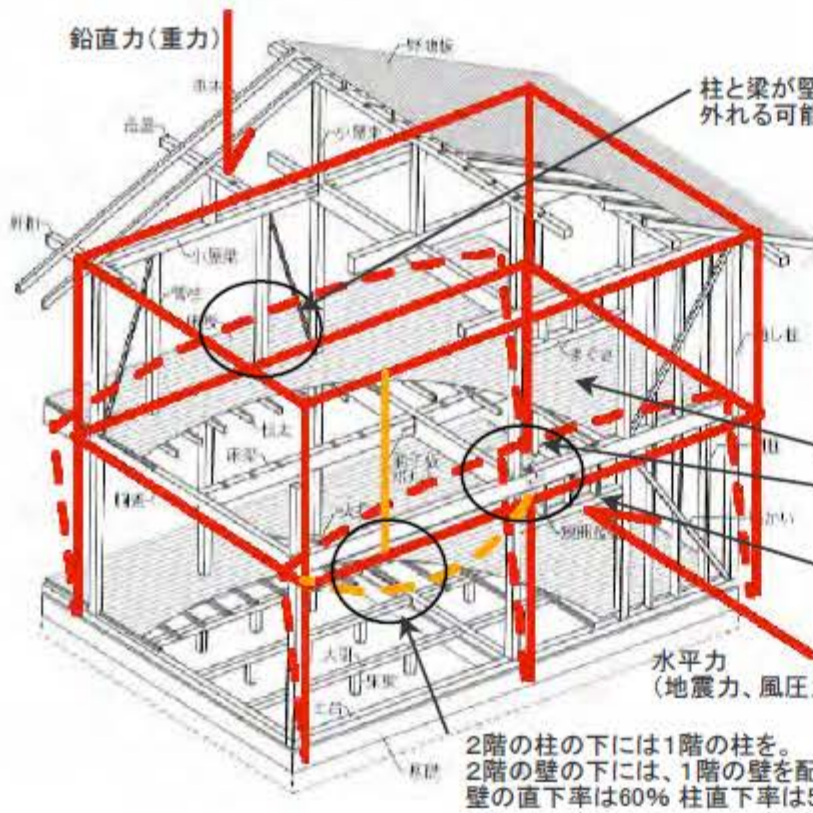
古地図は過去の土地の状況が判る



丈夫なすまい



基礎は、不同沈下しないようにつくる



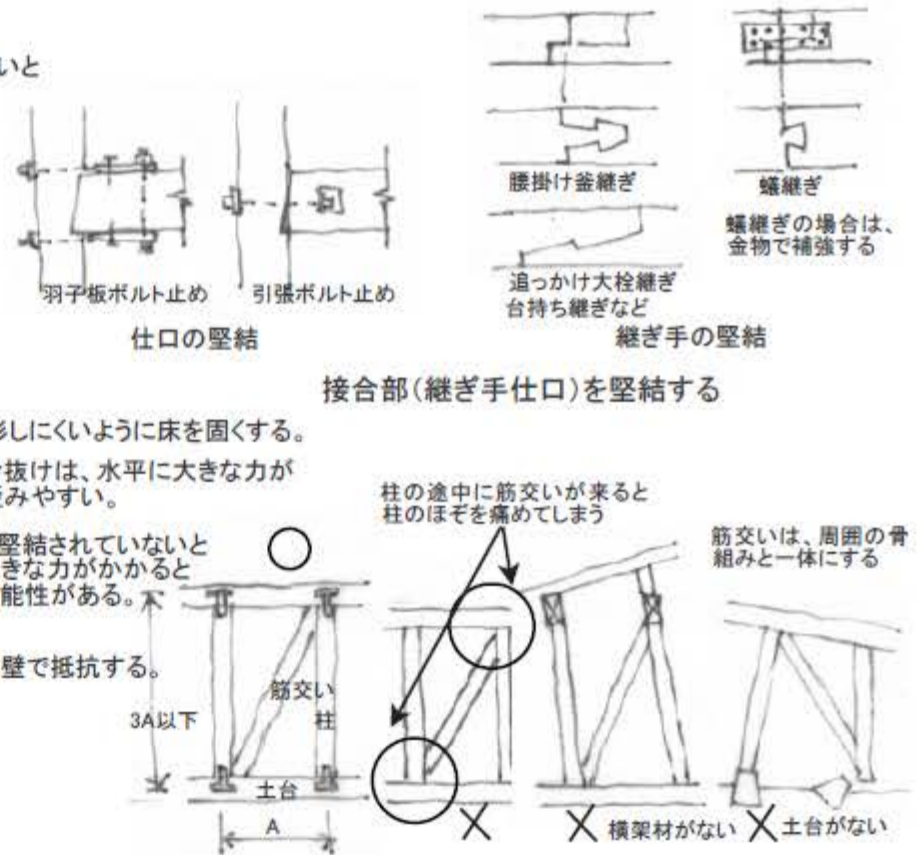
骨組みは、重力や地震力、風圧力に耐えられるように鉛直、水平の力の流れを考える



間取りは、壁の量とバランス、2階の乗り方等特に重力に逆らわないよう気をつける。

下記は、構造に対策がとられているか確認を！

- 大スパン
- はねだしバルコニー
- 大きな吹き抜け
- L型、雁行型
- 大開口
- オーバーハング(壁の跳ね出し)



筋交いは正しく入れ、堅結する



素材(重量、劣化の具合)や重量物(ピアノや太陽光パネル、太陽熱温水器等)の置き方固定の仕方にも注意を。

地理と地盤を知ろう

居住エリアの地理的特徴と地盤の特徴を調べる

町田市内地区別ぼうさいマップ情報

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/bouhan/bousai/bousaitaisaku/sonae/chikubetsumap.html>で調べられます。

通勤エリアの地理的特徴や地盤の特徴を調べる

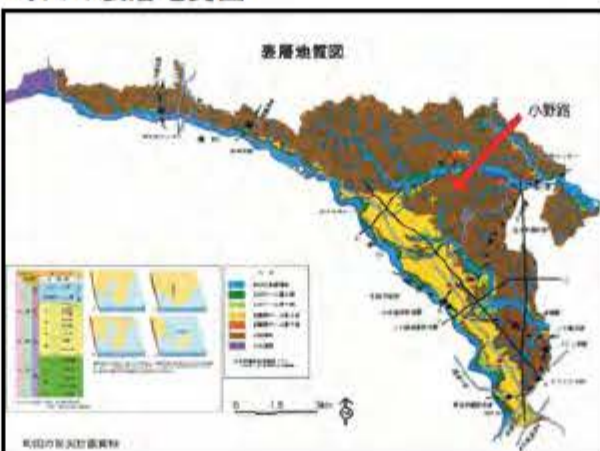
ALL311: 東日本大震災協働情報プラットフォーム地図・地理空間情報

<http://all311.ecom-plat.jp/group.php?gid=10005> の右斜め下の地震ハザード関係マップで調べられます。

町田の地形分類図



町田の表層地質図



通勤エリアの断層位置図



防災を意識した暮らし方(想定より軽く済んだが防災)

備えたい物と事

まずは、町田市防災マップを手に入れよう
<http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/bouhan/bousai/bousaitaisaku/sonae/index.html>



家に備えておきたいもの
 (消化器、水、熱源、ラジオ、食料、
 明かり(懐中電灯、ろうそく、発電機、蓄電器、ソーラー)、
 非常時持ち出し品&袋、ブルーシート等、簡易トイレ、ズック、
 帽子ヘルメット、薬等)



逃げ道や避難箇所の確保



非常時の約束事
 (家族との連絡方法、自宅へ辿り着く方法、
 日頃携帯するもの)



防災を意識した暮らしを楽しむ

ご近所コミュニケーション



防災ごっこ(防災訓練)



地域の防災マップづくり



さりげない見守り
 (自助近助組織)

エコな暮らしはサバイバルな暮らしと同義 地産地消、極力自給自足の暮らしを



出来るだけ線や管に頼らない暮らしを

まずは、建物を工夫する 気密 断熱遮熱 軒庇 窓 床壁 庭 よう壁 家の廻りの微気候を整える
 自然を利用する 太陽光 太陽熱 風 緑 雨水



太陽熱利用(温水・暖房)

地熱(暖気冷気)

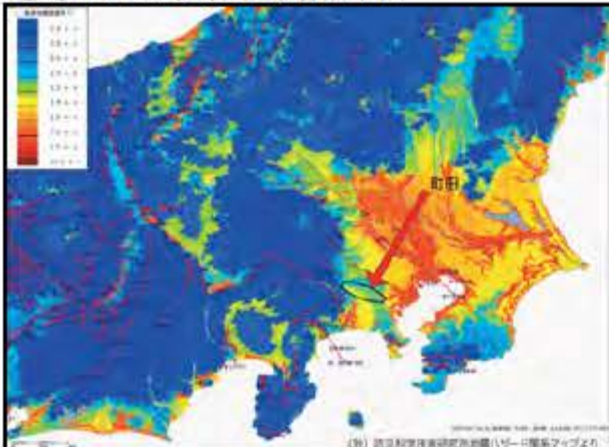
太陽光(発電暖房)

屋上緑化・壁面緑化
 (遮熱断熱)

薪ストーブ(暖房キッチン)

雨水利用
 井戸利用(温房涼房)

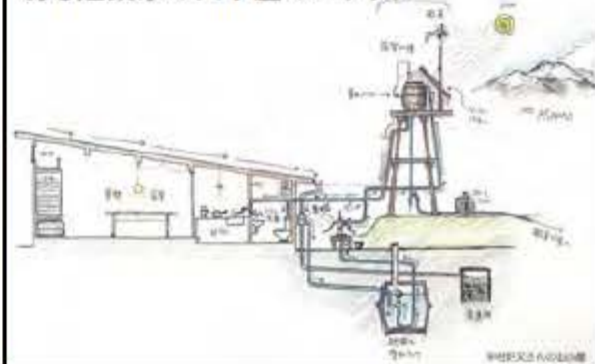
通勤エリアの表層地盤増幅率図



通勤エリアの13m浸水図



線や管に頼らない暮らしを楽しむ
 ある建築家の山小屋のスケッチ



8 わくわくとしみじみを味わえるまちにする工夫

チェック事項

- まちのあちこちに気楽に立ち寄れる街なか交流の場があるか。(街なかカフェ、縁側カフェ、街なかギャラリー、おしゃべり広場、空き家の活用など)
- 散歩が楽しくなる公園や緑地があるか。
- 駅前には素敵なお店、日常生活に便利なお店、多様なお店でにぎわいがあるか。
- 誰でも参加できる楽しいイベントがあるか。時々、まちが舞台になり劇場になり祝祭空間になるか。
- 楽しんでまちづくりに関わり、イベント等を企画実行する多様な世代の人達が豊富に居るか。
- 大人も子供も若者もお年寄りも、多少足腰が悪くても気軽にまちに出られるか。駐輪コーナー等も適所にあるか。
- 充実した相互扶助の地域ネットワークがあるか。(育児保育、家事援助、一時預かり、教育相談、住まいとまちの相談など)
- 充実した相互教育、情報交換の地域ネットワークがあるか。(生涯学習・社会教育の場と機会、人材(お互い得意分野を出し合える関係)など)
- 家と庭を出来るだけ開き、ご近所や道ゆく人への「おもてなしの気持ち」があるか。

この街に住んでよかった。
わくわくを味わえるまち

まちの風景。。



駅前の風景



勉強会諸々



洒落た店たち



街なかカフェ、街なかギャラリー

まちの賑わい。。。。



学園名物クリスマスツリー



桜の散歩道と散歩道マップ



住宅街にも
クリスマスイルミネーション



学園祭



商店街夏祭り



児童館の催し



ひな巡りやアートギャラリー&
11月のギャラリーウォーク



このまちに住んでよかった。
しみじみを味わえるまち

高齢者への地域貢献活動のいろいろ



地域住民が運営するNPO法人高齢者介護&支援組織



左記高齢者介護&支援組織の駅前商店街に設けた地域貢献活動拠点



お楽しみ会、親睦会、勉強会



活動団体親睦フリーマーケット

子どもへの地域貢献活動のいろいろ



地域住民が運営するNPO法人子育て子育て支援組織



地域で学校支援&ふれあい活動

福祉系活動グループによる活動のいろいろ



お楽しみ会、親睦会



介護医療の相談や勉強会



介護家族の居場所&高齢者の居場所づくりの活動



乳児の母親ネットの活動



高齢者配食サービスの活動



食事会グループの活動

まちづくり系地域活動のいろいろ



実現しました！コミュニティバス運行



駅の置き傘



軌道に乗せたい隣人祭り



名前がついた坂道
名前がついた桜の古木



町内会防災訓練
その他、火の用心の見廻り活動、駅前駐輪パトロールなど



これからは地域やお隣同士で協力しないと。地域自治会のがんばり！&ネットワーク活動

気持ちよく暮らせるまちに

自然を味わい、五感を活かした暮らしを・・・
周囲と調和し、落ち着いた暮らしを・・・
隣近所を気づかい、お互いに気持ちよく暮らせるように・・・
私的空間と公的空間を魅力的につないで気持ちのよいまちに・・・
快適でエコロジカルで長持ちする家と暮らしを・・・

安心して暮らせるまちに

塀やよう壁、家の耐震性を確認して安心した暮らしを・・・
家と周囲の防犯や夜間のあかりに配慮して、道行く人にも気配りを・・・
地域住民とのコミュニケーションを豊かにして相互協力の関係を・・・

誇らしく住みたくなるまちに

丘々が重なるまちの魅力を活かした家のづくり方を・・・
緑豊かなまちの魅力を損なわない家のづくり方を・・・
季節を感じる、季節を楽しめる家やまちに・・・
街の記憶や風情を大事に・・・
道行く人のためにも、楽しみながらすまいの演出を・・・



住みよいまちづくりは、「住むこと持つことの責任」と「おもてなしのこころ」です。
まずは、私とあなたの1歩から。。

デザインガイド本編にある ※ の写真は、住邦連/住宅・すまいWEB/まちなみ住宅100選/<http://sumajukanet.org/machinami100/>より、ダウンロードしました。
※※ の写真は、町田市HPより、ダウンロードしました。

発行 玉川学園地区まちづくりの会
<http://tamagaku.exblog.jp>
発行日 2013年3月1日
連絡先 町田市玉川学園2-19-5
玉川学園地区町内会自治会連合会
連絡事務所気付 電話 042-725-0438

この冊子は、国土交通省「平成24年度住まい・まちづくり担い手事業」の活動助成を受けて「玉川学園地区まちづくりの会」が作成したものです。

